

# 私たちは高齢者の強い味方です!



地域包括支援センターという言葉を知ったことがあるでしょうか。高齢者の方が住みなれた地域で安心して暮らしていけるように、介護・保健・福祉・医療サービスの利用も含めたさまざまな問題の相談に応じ、高齢者やその家族を支える機関です。現在、地域ごとに13の地域包括支援センターが存在します。

当法人は啓蒙・岡保・東藤島地区を担当する「福井大東包括支援センター」を福井市から委託を受けて運営しており、年間約1000件の近くの相談をいただいております。

今回は、「地域包括支援センター」の役割についてご紹介いたします。



# 高齢者の方の助けになりたい… 些細なことでもご相談を!

「地域のお困りごとに、全力でお応えしたい!」と話してくれるのは、福井大東包括支援センターの澤本千晶さん。コロナ禍において何が出来るかを日々模索し、介護予防教室の開催などを行っています。今回は、地域包括支援センターの役割について話を伺いました。



福井大東包括支援センター  
澤本千晶さん



私たちは担当地域の高齢者の方が、いきいきと住み慣れた場所で暮らし続けるためのサポートをしています。仕事内容は多岐にわたっていますが、一番お伝えしたいことは「高齢者の総合相談窓口」という点です。地域包括支援センターは、幅広いご相談に応えるために、保健士、社会福祉士、主任ケアマネジャーなど多くの専門職で構成されています。相談内容によっては医療と連携も行っています。

多職種連携により、高齢者のさまざまな悩みを解決します



相談時の様子

「少し弱ってきたけど、まだ大丈夫」「もう少し家族で頑張ってみよう」と思い、地域包括支援センターに相談するタイミングを悩まれる方もいらっしゃると思いますが、介護に直面した時だけでなく、日常生活に困り事が出てきた時や、ご家族の変化に気づき不安に感じた時など、早期に相談していただければと思います。早めにご相談いただくことで、介護サービス利用だけでなく、地域での介護予防活動の紹介、社会資源(困った状況を解決したり、くらしを支えたりするサービスや活動)の紹介など、これからの地域での生活についてご提案させていただきます。

何事も早め早めのご相談を!

いつでも必要なサービスが使えるように連携します

心身の状態の変化に合わせて、途切れることなく必要なサービスが提供されるように医療機関などとの連携やケアマネジャーさんへの指導助言を行います。

高齢者の皆さんの権利を守ります

消費者被害の防止や・虐待対応・成年後見制度など高齢者の権利と安全を守るお手伝いをします。



すべての高齢者のさまざまな相談を受け付けます



適切な介護予防を行います

要支援 1・要支援 2、事業対象者の認定を受けた方についてケアプランを作成し、適切なサービスを受けていただきます。介護が必要な状態になることを予防するために、運動教室や介護講座を開催します。

どんな仕事をしているの?





昨年はオンライン開催にて認知症サポーター養成講座を実施しました



東藤島地区社会福祉協議会研修会にて  
地域包括支援センターの役割について説明



介護予防教室の様子

**介護予防教室で、できること**

<b>体力測定</b> 	<b>感染症予防方法</b> 	<b>骨密度測定</b> 
<b>体操</b> 	<b>口腔ケア</b> 	

※その他、内容はご相談に応じます。

**介護予防が  
今注目されています**

コロナ禍で自粛が続き、外出の機会が減ることで、身体の機能が衰える可能性があります。地域包括支援センターでは、要介護状態にならないために、おうちでできる筋力アップ体操や健康を維持するための食生活の紹介などを介護予防教室として行っています。地域の公民館等で、感染症対策を取りながら開催していますので、ぜひご参加ください。

**☎ 53-4092** 福井市丸山町40-7 愛全園 3階  
メール daito@asuwapukushikai.jp

**働く世代の方も  
意識してほしい**

福井大東包括支援センターでは認知症に対する正しい知識と理解を広め、安心して暮らせる地域づくりのために『認知症サポーター養成講座』を学校や地域で開催しています。介護を担う働く世代にも介護者の立場だけでなく自分のこととして考える機会にもなるので、ぜひ認知症サポーター養成講座を受講してみてください。詳しくは福井大東包括支援センターまで。